

ごみ処理広域化の進捗状況について

1. 広域ごみ処理連絡部会の開催状況について

11月24日（火）に開催された広域ごみ処理連絡部会において、配布された「広域ごみ処理施設建設工事 通信（11月号）」についてご報告いたします。

【主な協議・報告内容】

(1) 工事の進捗状況について

※「広域ごみ処理施設建設工事 通信」参照。

表紙の上空からの全景写真は、10月20日に撮影。別添の写真は、11月19日に撮影。
工事全体の進捗率 11月18日現在：48%（今年度末には、70.3%の進捗予定）

特に問題もなく、予定どおりの進捗です。

(2) 環境モニタリング状況について

敷地境界での毎月の環境測定の結果（11月現在）、これまでと同様に特に大きな問題等はありません。引き続き、粉じん、騒音、振動、地下水について、毎月環境モニタリング測定を実施します。

2. 電力引込工事費負担金の変更について

1 概要

「東播臨海広域クリーンセンター」の建設工事において、当該施設に高圧の電力を引込むために、鉄塔に接続されている送電ケーブルを、他の鉄塔に振替する工事が必要となります。この度、電力会社より、2018年当初に検討していました施工方法に変更が生じるとの報告がありました。このことにより、電力引込工事負担金が増加することとなります。

2 電力引込工事負担金

電力会社の送電線路に接続する際、設備の設置及び既存設備等の変更が必要となった場合の電力会社が行う工事に係る費用の負担金

(負担の根拠)

電気事業法に基づき定められた電力会社託送供給等約款により、電力引込工事費を事業者が負担することが規定されています。

(負担の時期、清算)

工事着手前に負担金予定額の全額を支払う（概算払い）。工事完了後に負担金の過不足分を清算します。

3 当初予定額及び変更後金額

(当初予定金額)

当初、電力会社との協議により、要求水準書に示した額

145,000千円(税抜き)

※要求水準書 抜粋

外線引込工事に係る電力会社負担金145,000千円を見込むこと。(系統連携協議及び系統連携設備に係る負担金は別途民間事業者で見込むこと。)

(変更後金額)

電力会社が今回、算出した変更後金額(見込) 約192,000千円(税抜き)

※変更理由

当初検討の施工方法が市内需要家に数日間に及ぶ停電を強いる必要があり、現実的に不可能であるため、電力会社が方法を見直し。

以上